

# Nexus 5500 および 5600 NX-OS ソフトウェアのアップグレード

## 内容

---

### [はじめに](#)

### [前提条件](#)

[該当ハードウェア](#)

[NX-OS ソフトウェア](#)

[推奨される最小コード](#)

### [背景説明](#)

[In-Service Software Upgrade \(ISSU\)](#)

[考慮事項](#)

[ISSUの前提条件](#)

[ISSU中の管理サービス](#)

[非インサービスソフトウェアアップグレード \(非ISSU\)](#)

[アップグレードが中断される理由](#)

### [サポートされるアップグレードパス](#)

### [サポートされるアップグレード方法](#)

[ISSU \(無停止\)](#)

[非ISSU \(無停止\)](#)

### [関連資料](#)

---

## はじめに

このドキュメントでは、Cisco Nexus 5500および5600シリーズスイッチのNX-OSソフトウェアのアップグレードオプションとパスについて説明します。

## 前提条件

### 該当ハードウェア

このドキュメントで説明する情報は、次のハードウェアにのみ適用されます。

- Cisco Nexus 5596UP
- Cisco Nexus 5596T
- Cisco Nexus 5548UP
- Cisco Nexus 5548P
- Cisco Nexus 5672UP
- Cisco Nexus 5648Q
- Cisco Nexus 5624Q
- Cisco Nexus 5696Q

- Cisco Nexus 56128

## NX-OS ソフトウェア

Nexus 5500および5600シリーズスイッチ用のNX-OSソフトウェアは、キックスタートイメージとシステムイメージで構成されています。デバイスのNX-OSソフトウェアを更新する場合は、両方のイメージが同じバージョンであることを確認します。

必要なNX-OSイメージを取得するには、次の手順を実行します。

1. ソフトウェアダウンロードセンター(<https://software.cisco.com/download/home>)にアクセスします。
2. アップグレードが必要な、対応するNexus 5500および5600プラットフォームを探します。
3. デバイスにインストールする必要があるコードのシステムイメージとキックスタートイメージの両方をダウンロードします。

## 推奨される最小コード

Cisco Nexus 5500および5600シリーズスイッチ用の推奨NX-OSソフトウェアリリースの最小要件については、次の該当ドキュメントのいずれかを参照してください。

[Cisco Nexus 5500シリーズスイッチ用Cisco NX-OSの最小推奨リリース](#)

[Cisco Nexus 5600シリーズスイッチ用Cisco NX-OSの最小推奨リリース](#)

## 背景説明

Cisco Nexus 5500および5600シリーズスイッチには、ソフトウェアをアップデートするためのIn Service Software Upgrade(ISSU)と非ISSUの2種類のオプションがあります。環境、適用する構成、および許容されるダウンタイムに応じて、各オプションを活用できます。

### In-Service Software Upgrade ( ISSU )

Cisco Nexus 5500および5600シリーズスイッチは、単一の「スーパーバイザ」ISSUアーキテクチャをサポートし、実行時にはオペレーティングシステム全体のステートフルリスタートを実行しますが、データプレーン転送はそのまま維持されます。この間、ISSUを実行しているスイッチのコントロールプレーン機能は80秒間一時的に中断され、設定変更は許可されません。

### 考慮事項

- ISSUは、互換性のあるイメージ間でのみサポートされます。このドキュメントの「[サポートされるアップグレードパス](#)」セクションを参照してください。
- ISSUが正常に中断できないポイントからの障害は、アップグレードの中断(シャーシのリロード)につながる可能性があります。ISSU割り込みの一般的な原因は、スイッチでISSUが実行されている間のモジュールの挿入と削除、またはスパニングツリートポロジの

変更です。

- ISSUが成功しても、シャーシおよび接続されているFEXでリロードは発生しません。
- CLIおよびSNMPの設定変更要求は、ISSUの動作中に拒否される。

## ISSUの前提条件

ISSUをサポートするために満たす必要がある要件のリストを次に示します。これらの要件の1つを満たすことができなければ、ISSUは失敗します。

- デバイスでレイヤ3サービスを実行しないでください。ISSUを使用した無中断アップグレードを行うには、レイヤ3機能の設定をすべて解除し、L3ライセンスを削除して、スイッチをリロードする必要があります。
- 高速LACPタイマー ( hello=1秒、dead=3秒 ) は、ISSUではサポートされません。デフォルトタイマー ( hello=30秒、dead=90秒 ) は、スイッチとそのLACPネイバーで設定する必要があります。
- STP対応スイッチは、ISSUを実行しているスイッチのダウンストリームには存在できません。
- STPブリッジ保証機能(スパニングツリーポートタイプのネットワーク)は、vPCピアリンク以外のインターフェイスには設定できません。
- どのSTPインスタンスでもトポロジ変更をアクティブにする必要はありません。
- VPCピアリンク以外に、STP指定フォワーディングステータスのインターフェイスはありません。この状態のインターフェイスがあり、それらがサーバ、ルータ、ファイアウォールなど、STPを実行しないデバイスに接続されている場合、要件に準拠するために、アクセスポートでスパニングツリーポートタイプedgeを、トランクポートでスパニングツリーポートタイプedge trunkを設定できます。STPを実行しているスイッチに接続しているインターフェイスでは、スパニングツリーポートタイプのエッジを使用しないでください。
- VPCを設定する場合は、両方のVPCピアですべてのISSU前提条件を同時に満たす必要があります。

## ISSU中の管理サービス

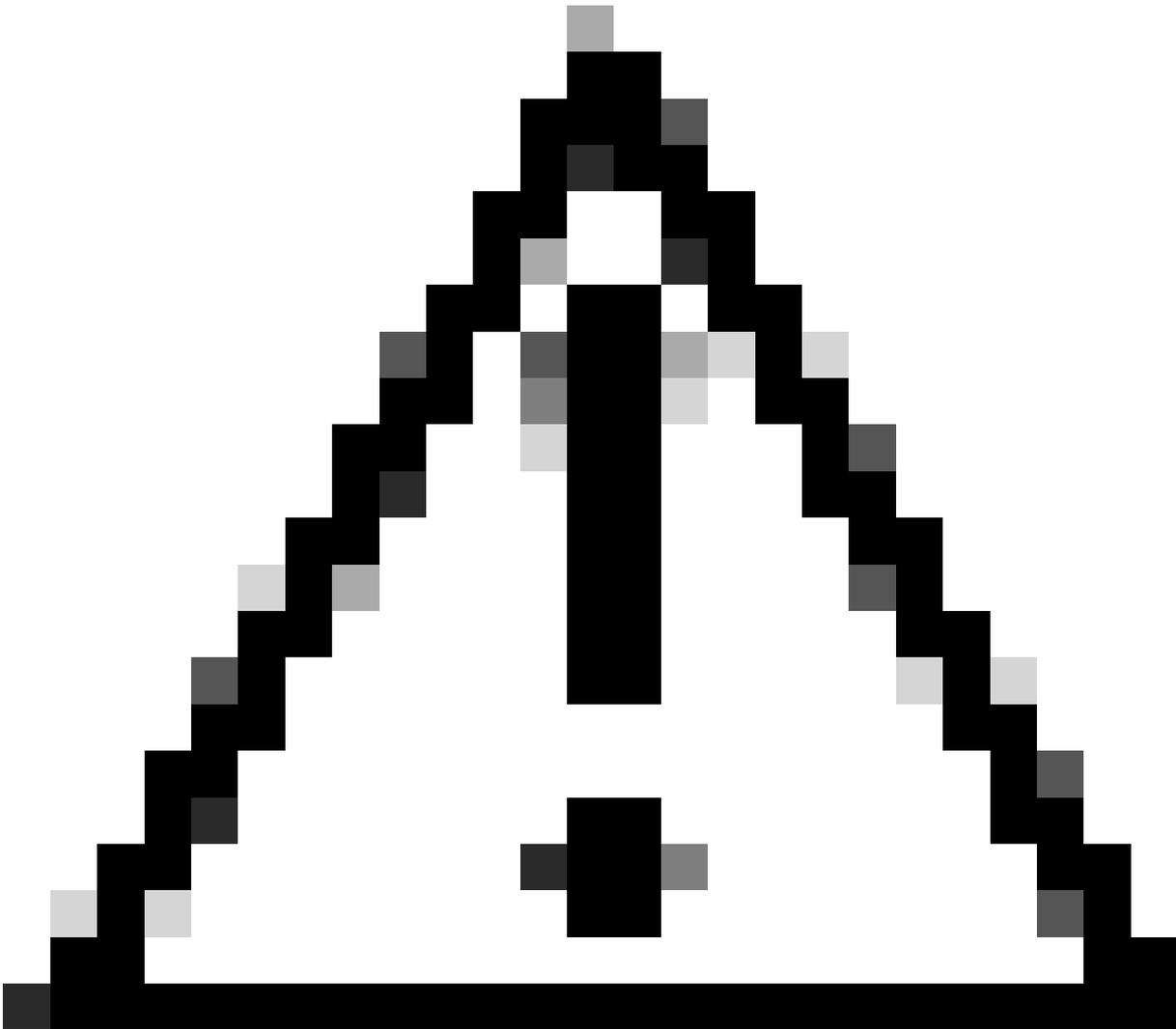
スイッチがISSU用にリセットされる前 ( コントロールプレーンが約80秒間停止する ) に、インバンド接続と管理接続が停止し、ISSUの完了後に再起動されます。インバンドポートや管理ポートに依存するサービスは、この間に影響を受けます。たとえば、スイッチとの間のTelnet、SSH、AAA、RADIUS、HTTP、NTPセッションは、ISSUコントロールプレーンのリブート中に中断されます。このため、ISSUプロセスの間はコンソールアクセスを使用することをお勧めします。これにより、管理接続が復旧する間、ユーザは引き続きISSUの進行状況を確認できます。

## 非インサービスソフトウェアアップグレード ( 非ISSU )

Cisco Nexus 5500および5600シリーズスイッチは、一般に中断アップグレードと呼ばれる非ISSUオプションもサポートしています。このオプションでは、デバイスのリロードを実行して新しいイメージをロードできます。

## アップグレードが中断される理由

- ISSUの条件の1つが満たされていない場合は、アップグレードを行う唯一の方法は中断アップグレードです。
  - 中断アップグレードでは、接続されているすべてのFEXが同時にアップグレードされるため、メンテナンス時間を短縮できます。
  - 互換性のないイメージ間ではアップグレードを中断して実行できるため、ISSUオプションで必要となる複数のアップグレードジャンプを回避するのに役立ちます。
- 



注意：互換性のないイメージ間でアップグレードを実行すると、特定の設定が失われる可能性があります。詳細については、Cisco Bug ID [CSCu122703](#)を参照してください。アップグレード後にコンフィギュレーションの一部が失われて復元できるのか、あるいは、サポートされているアップグレードパスを使用してすべてのコンフィギュレーションを保持することが望ましいのかについて、判断を下す必要があります。

---



注:7.xの任意のリリースから、Cisco Bug ID [CSCva49522](#)の修正が取り込まれたリリースにアップグレードする場合は、バイナリ設定のリプレイが使用され、設定の喪失は予期されません。

---

---

注：電源コントローラの設定が更新されていないと、リロードまたはNX-OSのアップグレード後にNexus 5596スイッチが起動しません。詳細は、Cisco Bug ID [CSCun66310](#)を参照してください。

---

## サポートされるアップグレードパス

Cisco NX-OSリリース7.3(13)N1(1)および7.3(14)N1(1)へのサポートされているアップグレードパスについては、表1を参照してください。

表1: Cisco Nexus 5500および5600シリーズスイッチでサポートされているアップグレードパス

現在のリリース	中間リリース	ターゲットリリース
Cisco NX-OS 7.3のすべての	直接アップグレードがサポートされる	7.3(13)N1(1)

リリース		7.3(14)N1(1)
Cisco NX-OS 7.2のすべてのリリース	7.3(2)N1(1)	
NX-OS 7.1(4)または7.1(5)	直接アップグレードがサポートされる	
7.1(4)より前のNX-OS 7.1	7.1(4)N1(1)または7.1(5)N1(1)	
NX-OS 7.0(4)以降	7.1(4)N1(1)または7.1(5)N1(1)	
7.0(4)より前のNX-OS 7.0	2つのジャンプ：最初の7.0(8)N1(1)、次の7.1(4)N1(1)	
NX-OS 5.2または6.0	2つのジャンプ：最初の7.0(4)N1(1)、次に7.1(4)N1(1)	

---

注: Cisco Bug ID [CSCvt58479](#)による問題のため、Cisco NX-OSリリース7.3(7)N1(1)からCisco NX-OSリリース7.3(13)N1(1)に無停止でアップグレードすることはできません。

---

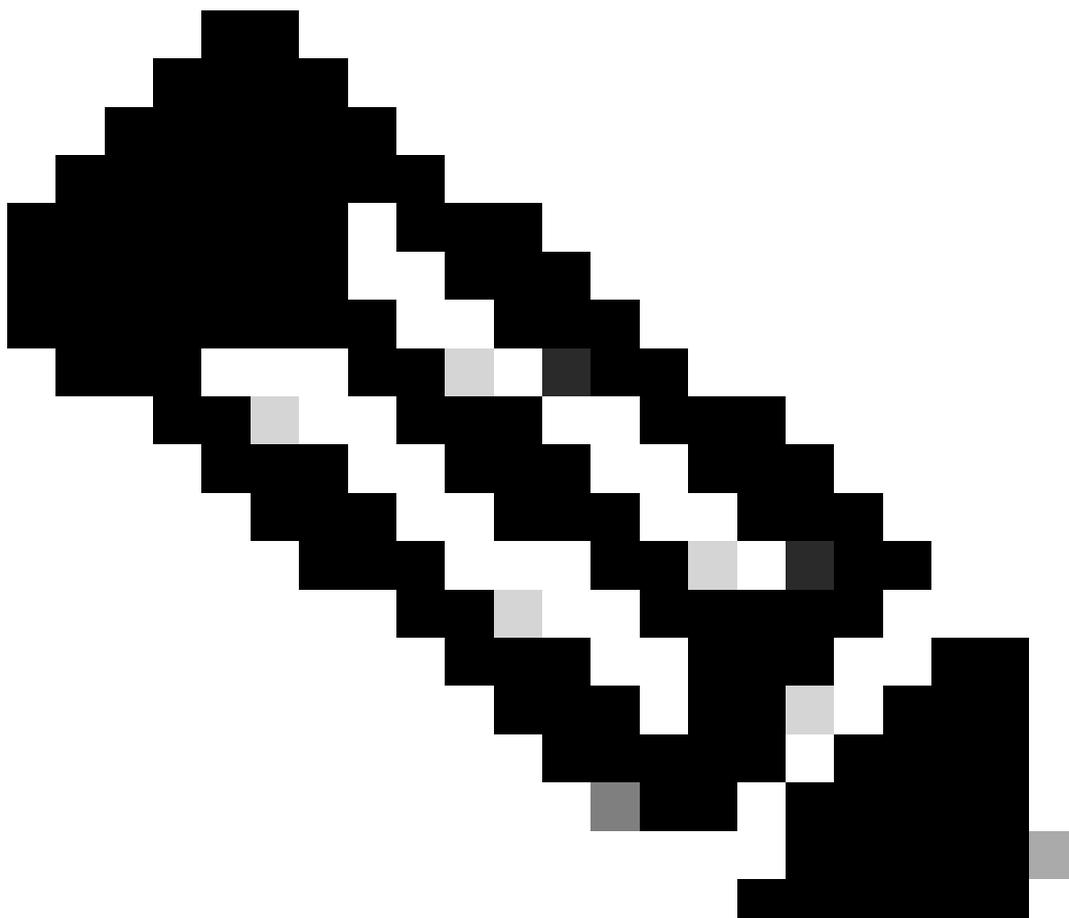
## サポートされるアップグレード方法

### ISSU ( 無停止 )

ISSUアップグレードをトリガーするには、互換性のあるイメージ間でinstall allコマンドを使用する必要があります。

```
switch# install all kickstart bootflash:[kickstart-image.bin] system bootflash:[system-image.bin]
```

---



注：注：Cisco Nexus 5500および5600シリーズスイッチのアップグレード手順の詳細については、『[Cisco Nexus 5X00シリーズNX-OSソフトウェアアップグレードおよびダウングレードガイド](#)』で該当するアップグレードガイドを選択し、「アップグレード手順」の項を参照してください。

---

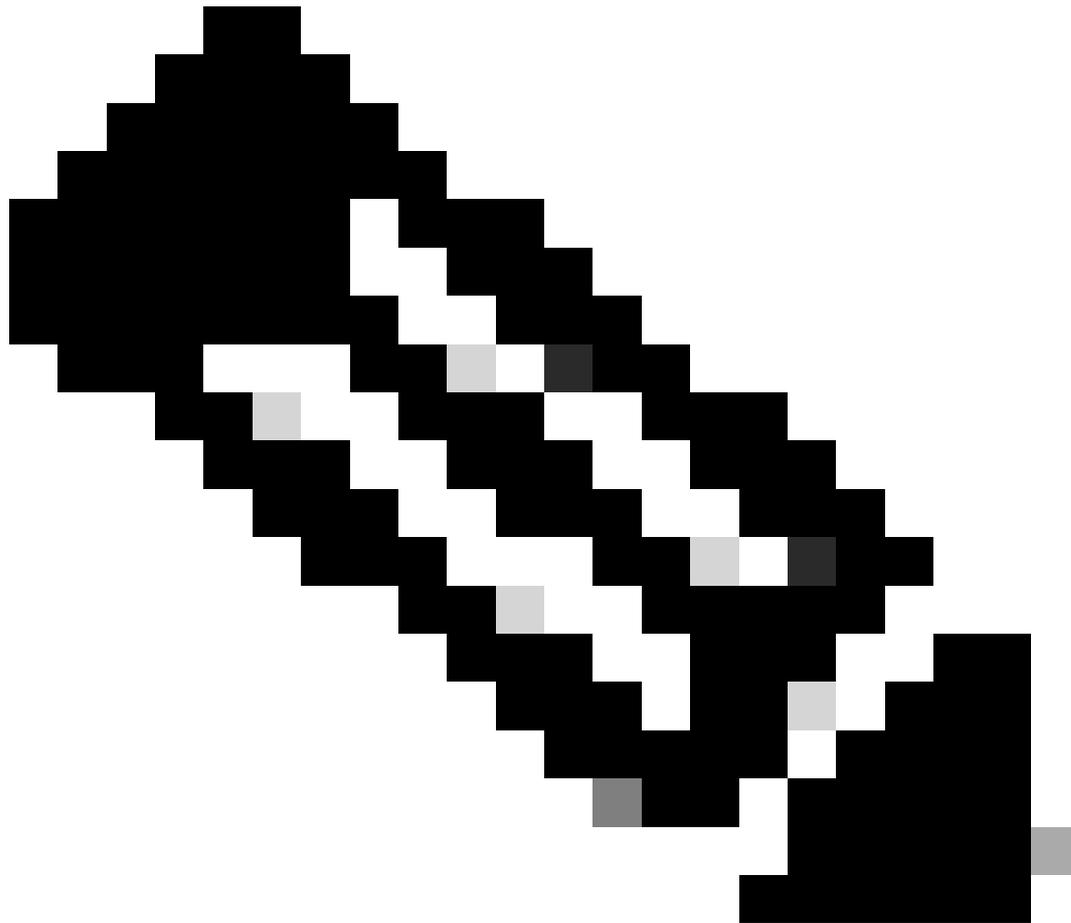
## 非ISSU ( 無停止 )

非ISSUアップグレードをトリガーするには、互換性のある、または互換性のないイメージ間でinstall allコマンドを使用する必要があります。

```
switch# install all kickstart bootflash:[kickstart-image.bin] system bootflash:[system-image.bin]
```

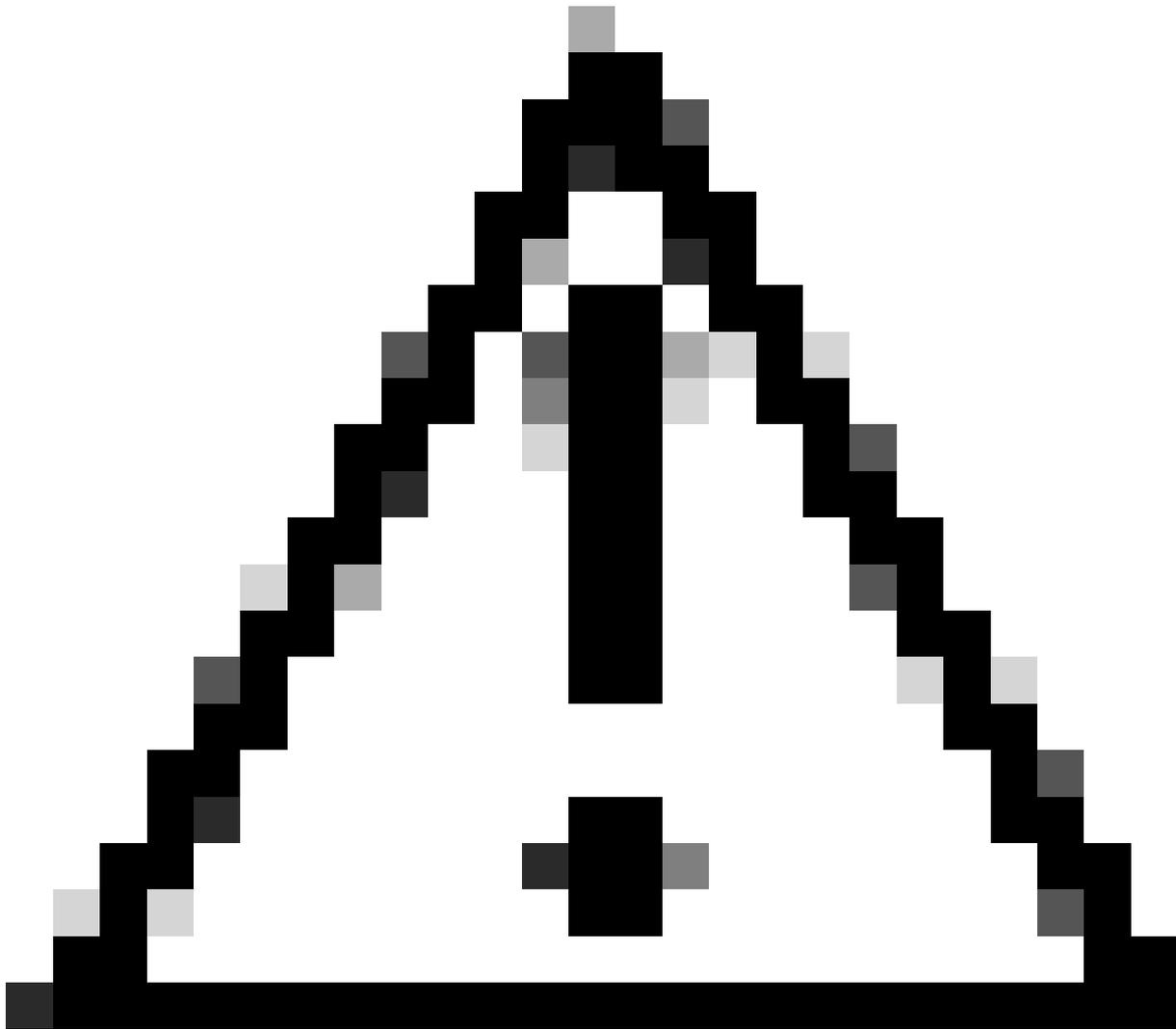
ISSUを利用できる場合でも強制的に中断アップグレードを実行するには、install allコマンドとforceオプションを使用します。

```
switch# install all force kickstart bootflash:[kickstart-image.bin] system bootflash:[system-image.bin]
```



注：install allコマンドが事前チェックを完了すると、アップグレード中に「Switch will be reloaded for disruptive upgrade.インストールを続行しますか(y/n)?[n]」と入力している場合は、「y」と入力してアップグレードを続行します。

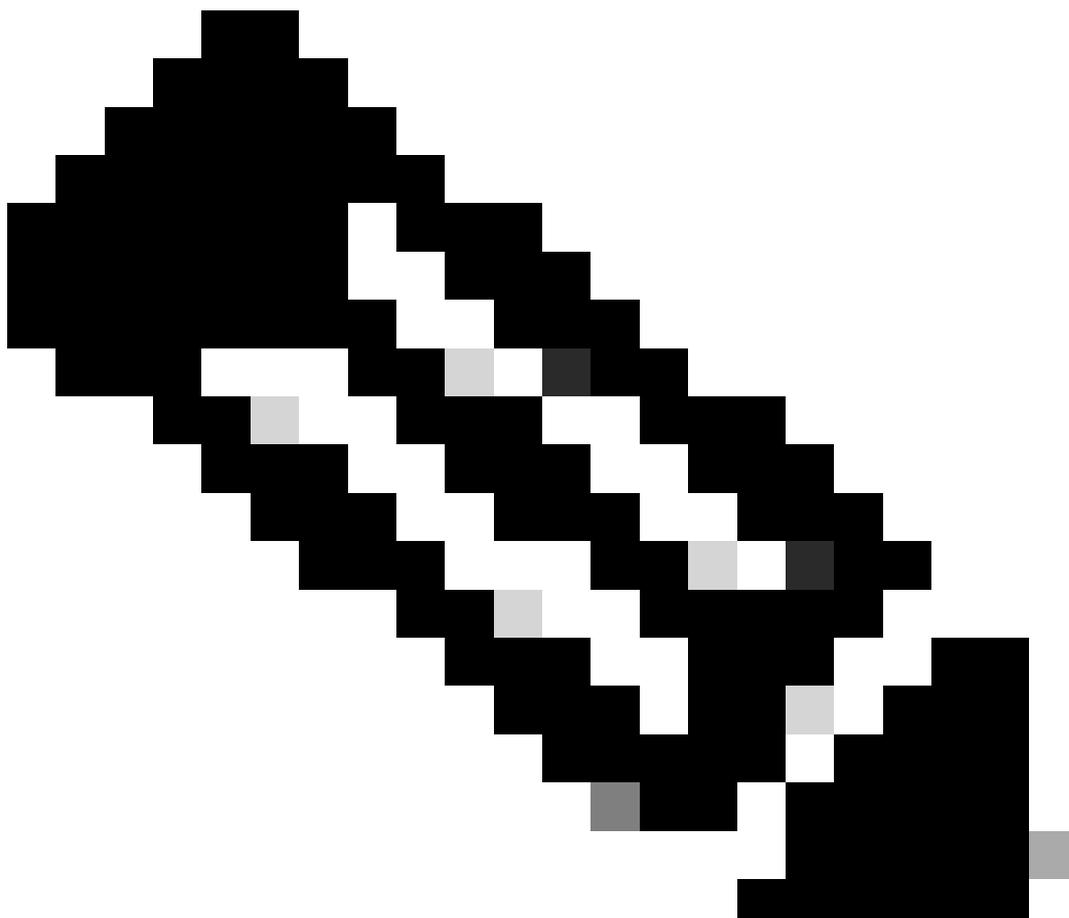
---



注意: Cisco NX-OSのアップグレードまたはダウングレードを行うためにブート変数を変更することは推奨されません。変更すると、設定が失われ、システムが不安定になる可能性があります。

---

---



注: Cisco Nexus 5500および5600シリーズスイッチのアップグレード手順の詳細については、『[Cisco Nexus 5X00シリーズNX-OSソフトウェアアップグレードおよびダウングレードガイド](#)』から該当するアップグレードガイドを選択して、「アップグレード手順」の項を参照してください。

---

## 関連資料

Cisco Nexus 5500および5600シリーズスイッチについてのドキュメントは、『[Cisco Nexus 5000シリーズスイッチ](#)』

ドキュメントセットは次のカテゴリに分類されます。

- [リリースノート](#)
- [インストールおよびアップグレードガイド](#)
- [コマンドリファレンス](#)
- [設定ガイド](#)

- [エラーおよびシステムメッセージ](#)

## 翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。